

令和6年能登半島地震 被災地へ第6班救護班を派遣しました

日本赤十字社三重県支部は、能登半島地震災害被害者の救護活動にあたるため、伊勢赤十字病院職員を中心とした、日本赤十字社三重県支部救護班第6班医療救護班を令和6年2月15日から日赤石川県支部へ派遣しました。

今回派遣する第6班医療救護班は、伊勢赤十字病院の医師1名、看護師長1名、看護師2名、主事2名、支部職員1名の7名編成で、石川県支部の指揮下に入り珠洲市で活動予定です。愛知医療センター名古屋第一病院救護班から引継ぎを行い、2月19日まで現地で被災者の救護活動をする予定となっております。

